



IoTによる見守り支援システム「いまいルモ」

大矢動物病院の入院やペットホテルの“見守り”で活躍

株式会社ソルクシーズ(本社:東京都港区、代表:秋山博紀、以下ソルクシーズ)の見守り支援システム「いまいルモ」を2017年6月よりご利用いただいている株式会社大矢動物病院(東京都狛江市、以下 大矢動物病院)に、ご導入当時の課題やご導入後の状況についてヒアリングを実施いたしました。

見守り支援システム「いまいルモ」は、ひとり暮らしの見守りをはじめ、高齢者住宅、介護施設など様々なシーン向けにカスタマイズし、“いまいルモシリーズ”として提供しています。大矢動物病院では、入院やペットホテルで預かるペットの夜間の見守りに「いまいルモ」をご活用いただいています。スタッフが不在となる夜間は、主に監視カメラのみで見守りを行っていましたが、いまいルモのオプション機能「バイタルセンサー」と併用することで、カメラでは捉えられない脈拍・呼吸・体動が把握できるようになりました。これにより、睡眠等により一定時間動きがない場合でも、ペットの安否確認が可能となりました。

バイタルセンサー



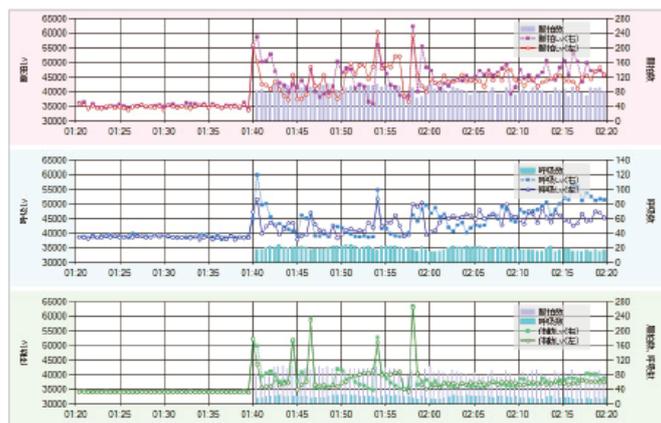
ベッドタイプ



ルームタイプ

【マイクロ波センサー】
マイクロ波の反射で検知

マイクロ波で体表の動きをセンシングし、おおよその脈拍・呼吸を推測することができます。



【バイタルデータグラフィイメージ】

【株式会社大矢動物病院 院長 大矢智隆氏のコメント】

他社製品の導入を検討しましたが、初期費用・月額費用ともに費用感が合わず見送りました。

「いまいルモ」のバイタルセンサーは、脈拍、呼吸、体動を細かく見ることができ、入院中のペットの様子も詳細に把握できるので重宝しています。スマートフォンがあれば夜間はもちろん、外出先からでもペットの状態が把握できるので、体力的にも楽ですし、より多くの異常に気づきやすくなります。今後は同業他社にも広まれば良いと考えています。



■ IoTによる見守り支援システム「いまイルモ」とは

2013年にスタートしたIoTによる見守り支援システム「いまイルモ」は、多機能センサーから得た日々の行動をデータ化し、兆候を“見える化”するためのシステムで、独り暮らしの見守りをはじめ、高齢者住宅、介護施設など様々なシーン向けにカスタマイズし、“いまイルモシリーズ”としてご提供しております。

【見守り支援システム「いまイルモ」に関するお問い合わせ先】

担当:IoT 事業推進室 六角(むすみ)、竹田
TEL: 03-6722-5019 FAX: 03-6722-5079
メールアドレス:support@imairumo.com
ホームページ:<https://www.imairumo.com/>

【会社概要】

会社名 : 株式会社ソルクシーズ
所在地 : 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-21
msb Tamachi 田町ステーションタワーS 13F
代表者 : 代表取締役社長 秋山 博紀
設立 : 1981年2月
資本金 : 14億9,450万円(2024年6月末日現在)
事業内容 : SI/受託開発業務(システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守)、ソリューション業務(セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守)及び関連機器の販売等
ホームページ : <https://www.solxyz.co.jp/>

ソルクシーズグループは、
『お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力』を
モットーに、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指しています。

	本リリースに関するお問い合わせ先 株式会社ソルクシーズ 経営企画室 TEL: 03-6722-5020 FAX: 03-6722-5021 Mail: ir-post@solxyz.co.jp
とろくん ソルクシーズイメージキャラクター	